

現「いわて男女共同参画プラン」の成果と課題

資料3

【主要指標】評価結果一覧（平成28年度～令和２年度）

※現プランの期間における進捗状況（評価対象指標は26。主要指標は24であるが細分化したものを含む。）

- A（達成度100.0以上）
- B（達成度80.0～100.0未満）
- C（達成度80.0未満又は伸び率100.0未満）
- 評価不能（実績値なし）

I 東日本大震災津波からの復興と防災における男女共同参画の推進

	指標名	基準値		各年度の状況					総合評価
		H26		H28	H29	H30	R1	R2	
1	男女共同参画視点からの復興に関する研修受講者数（累計） 【単位：人】 若者女性協働推進室	0	目標	50	100	150	200	250	防災や復興に男女共同参画の視点を持って取り組む地域住民等を増やし、復興を加速することを目的として実施している「男女共同参画視点からの復興に関する研修」受講者数は着実に増加しています。 一方で、女性委員が参画する市町村防災会議の割合はこの3年間で進展しておらず、特に、県北地域の町村で女性の参画が進んでいない傾向があります。 復興や防災に関する政策・方針決定過程に男女がバランスよく参画し、物資の備蓄や避難所運営など、多様な住民の意見を反映した取組が進むよう、市町村防災会議への女性の参画について、引き続き市町村への働きかけが必要です。
			実績	56	106	156	—	—	
			評価	A	A	A	—	—	
2	女性委員が参画する市町村防災会議の割合 【単位：％】 総合防災室	69.7 (H27)	目標	75.8	81.8	87.9	93.9	100.0	
			実績	81.8 (H29)	81.8 (H30)	81.8 (R1)	—	—	
			評価	A	A	B	—	—	

II 女性の活躍支援

	指標名	基準値		各年度の状況					総合評価
		H26		H28	H29	H30	R1	R2	
3	男女いずれか一方の委員の数が委員総数の40%未満にならない審議会等の割合 【単位：％】 若者女性協働推進室	60.3	目標	66.8	70.1	73.4	76.7	80.0	政策・方針決定過程への女性の参画拡大を図る指標として、指標3「男女いずれか一方の委員の数が委員総数の40%未満にならない審議会等の割合」、指標4「県管理監督者に占める女性の割合」については、平成26年度に比べて上昇していますが、目標には達していません。また、指標5「教職員の管理職に占める女性の割合」は平成26年度基準値よりも下回っています。 少子高齢化の進展や社会経済状況の急速な変化に対応するために、性別にかかわらず個性と能力を発揮できるよう、引き続き女性の地位向上の取組が必要です。
			実績	58.7	62.7	61.3	—	—	
			評価	C	B	B	—	—	
4	県職員管理監督者に占める女性の割合（係長職相当職以上） 【単位：％】 人事課	14.1	目標	16.7	18.0	19.4	20.7	22.0	
			実績	17.0	17.7	18.6	—	—	
			評価	A	B	B	—	—	
5	教職員の管理職に占める女性の割合 【単位：％】 教職員課	17.7	目標	18.5	19.5	20.5	21.5	22.5	
			実績	15.2	15.0	15.8	—	—	
			評価	C	C	C	—	—	
6	ロールモデル提供事業参加者数（累計） 【単位：人】 若者女性協働推進室	20	目標	110	155	200	245	290	女性の職業生活における活躍を図る指標として、指標6の女性社員等を対象とした「ロールモデル提供事業」、指標8「女性活躍のための経営者研修」の参加者数等は、目標値を大幅に上回りました。 一方で、有効求人倍率が1倍を超える状況が続いており、訓練を経ずに就職する求職者が多かったため、指標7「離職者を対象とした職業訓練における女性の受講者数」は平成26年度基準値よりも下回っています。 女性が活躍できる職場環境づくりに向けて、引き続き参加者等を増やしていく必要があります。
			実績	119	161	277	—	—	
			評価	A	A	A	—	—	
7	離職者等を対象とした職業訓練における女性の受講者数 【単位：人】 定住推進・雇用労働室	991	目標	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	
			実績	1,010	894	865	—	—	
			評価	B	C	C	—	—	
8	女性活躍のための経営者研修出席者数（累計） 【単位：人】 若者女性協働推進室	50	目標	150	200	250	300	350	
			実績	404	777	840	—	—	
			評価	A	A	A	—	—	

9	いわて子育てにやさしい企業の延べ認証数（累計） [単位：社] 子ども子育て支援課	23	目標	29	32	35	38	41	<p>女性が働きやすい環境づくりの指標として、指標9「いわて子育てにやさしい企業の延べ認証数」、指標1「の男性のためのワーク・ライフ・バランスセミナー」出席者数は目標を上回りました。</p> <p>指標11「職場において男女が平等と感じている人の割合」については、3年に1度実施している県民意識調査によると、平成30年度の調査では、前回調査より2ポイント上昇したものの、目標値を下回りました。</p> <p>女性が働きやすい環境づくりを進め、職場における男女平等を浸透させていくために取組を継続していくことが必要です。</p>
			実績	40	65	113	—	—	
			評価	A	A	A	—	—	
10	男性のためのワーク・ライフ・バランスセミナー出席者数（累計） [単位：人] 若者女性協働推進室	0	目標	100	150	200	250	300	
			実績	771	1,591	1,661	—	—	
			評価	A	A	A	—	—	
11	職場において男女が平等と感じている人の割合 [単位：％] 若者女性協働推進室	23.9 (H27)	目標	(25.1)	(26.3)	27.5	(28.7)	30.0	
			実績	—	—	25.9	—	—	
			評価	—	—	B	—	—	
12	家族経営協定締結農家数（累計） [単位：戸] 農業普及技術課	1,777	目標	1,840	1,890	1,940	1,990	2,040	<p>農林水産業・商工自営業における男女共同参画を図る指標として、指標12「家族経営協定締結農家数」、指標13「農業農村指導士に占める女性の割合」及び指標14「女性の漁業士数」は目標値を下回りました。</p> <p>農山漁村の担い手育成、農業経営の改善を図り、農山漁村における女性活躍を推進するため、引き続き関係機関と連携して取り組む必要があります。</p>
			実績	1,871	1,905	1,937	—	—	
			評価	A	A	B	—	—	
13	新規認定に係る農業農村指導士に占める女性の割合 [単位：％] 農業普及技術課	17.6	目標	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0	
			実績	36.4	16.7	7.7	—	—	
			評価	A	C	C	—	—	
14	女性の漁業士数 [単位：人] 水産振興課	10	目標	12	13	14	15	16	
			実績	7	6	5	—	—	
			評価	C	C	C	—	—	

Ⅲ 男女共同参画社会の実現に向けた基盤の整備

	指標名	基準値		各年度の状況					総合評価
		H26		H28	H29	H30	R1	R2	
15	男女共同参画社会基本法の名称又は内容を知っている人の割合 [単位：％] 若者女性協働推進室	59.9 (H27)	目標	(65.9)	(71.9)	77.9	(83.9)	90.0	<p>男女共同参画基本法の認知度は63%、本県の男女共同参画推進条例の認知度は約4割と依然として低いことから、引き続き広く県民に対する学習・啓発に取り組んで行く必要があります。</p>
			実績	—	—	63.0	—	—	
			評価	—	—	B	—	—	
16	男性の男女共同参画サポーター認定者数 [単位：人] 若者女性協働推進室	100 (H27)	目標	115	125	135	145	155	<p>地域や職場で男女共同参画を推進する男性の男女共同参画サポーター認定者数は着実に伸びており、男性サポーターのいる市町村数も30市町村と目標を達成しています。</p> <p>一方で、自治会長に占める女性の割合が全国平均を下回っており(全国平均5.7%、本県4.0%)、地域社会で女性の意見や考え方が反映されていないと考える割合が約3割いることから、地域における男女共同参画の学習・啓発に、引き続き取り組んで行く必要があります。</p>
			実績	114	132	150	—	—	
			評価	B	A	A	—	—	
	(男性のサポーターがいる市町村の割合) [単位：％] 若者女性協働推進室	66.7 (H27)	目標	73.3	79.9	86.6	93.3	100.0	
			実績	75.8	81.8	90.9	—	—	
			評価	A	A	A	—	—	
17	生涯学習情報提供システム利用件数 [単位：件] 生涯学習文化財課	23,710	目標	26,080	27,265	28,450	29,635	30,820	
			実績	48,584	63,542	76,043	—	—	
			評価	A	A	A	—	—	

18	社会慣習の中での男女の不平等感の割合 (↓(低減する)指標) [単位: %] 若者女性協働推進室	73.1 (H27)	目標	(70.5)	(67.9)	65.3	(62.7)	60.0	<p>社会の中で男女の不平等を感じる割合は、わずかですが増加しています。特に30代～60代の女性で不平等感の割合が高く、地域別では県北地域の不平等感が県平均より7.5ポイント高くなっています。</p> <p>共働き世帯における女性の家事時間に対する男性の家事時間割合は増加していますが、地域別でみると、県南地域で31.4%、県北地域と32.1%と低くなっています。</p> <p>地域による差異にも着目した、意識改革や啓発活動が必要です。</p>
			実績	—	—	73.9	—	—	
			評価	—	—	B	—	—	
19	共働き世帯における女性の家事時間に対する男性の家事時間の割合 [単位: %] 若者女性協働推進室	34.4	目標	36.2	37.2	38.1	39.0	40.0	
			実績	36.3	34.2	40.8	—	—	
			評価	A	C	A	—	—	

IV
 女性に対する暴力の根絶と女性の健康支援

	指標名	基準値		各年度の状況					総合評価
		H26		H28	H29	H30	R1	R2	
20	DV防止法の名称又は内容を知っている人の割合 [単位: %] 若者女性協働推進室	76.5 (H27)	目標	(79.2)	(81.9)	84.6	(87.3)	90.0	<p>暴力の根絶に向けた取組の指標として、指標22「DV相談員向けの研修」や指標23「メディア対応能力養成講座の受講者数」は増加しています。一方で、指標20「DVに関する認知度」や指標21「自治体の相談支援センターや警察で相談や被害者保護を行っていることを知っている割合」が伸び悩んでいることから、広く県民に相談窓口や制度を周知する取組を強化する必要があります。</p>
			実績	—	—	79.3	—	—	
			評価	—	—	B	—	—	
21	自治体の相談支援センター、警察で相談や被害者保護を行っていることを知っている人の割合 [単位: %] 若者女性協働推進室	43.5 (H27)	目標	(50.8)	(58.1)	65.4	(72.7)	80.0	
			実績	—	—	42.5	—	—	
			評価	—	—	C	—	—	
22	DV相談員研修参加者数 [単位: 人] 若者女性協働推進室	51 (H27)	目標	50	50	50	50	50	
			実績	70	58	67	—	—	
			評価	A	A	A	—	—	
23	メディア対応能力養成講座参加者数（累計） [単位: 人] 若者女性協働推進室	689	目標	930	1,050	1,170	1,290	1,410	
			実績	1,016	1,216	1,343	—	—	
			評価	A	A	A	—	—	
24	子宮（頸）がん検診及び乳がん検診受診率 子宮（頸）がん [単位: %] 健康国保課	25.6 (H22)	目標	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	<p>生涯にわたる女性の健康支援を図る指標として、子宮がん及び乳がんの検診受診率が依然として低いことから、がん検診の重要性などの普及啓発や受診勧奨の強化を図るとともに、受診しやすい環境整備が必要です。</p>
			実績	30.3	46.4	30.3	—	—	
			評価	C	B	C	—	—	
	子宮（頸）がん検診及び乳がん検診受診率 乳がん [単位: %] 健康国保課	26.0	目標	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	
			実績	32.0	50.4	32.0	—	—	
			評価	C	A	C	—	—	